

# 株式会社Spatial Pleasure



- 所在地：東京都世田谷区
- 従業員：3名
- 会社設立年：2019年
- 事業内容：交通領域の脱炭素化に資するデータソリューションの開発

<https://spatial-pleasure.xyz/>

## プロジェクト名

- カーボンクレジット創出による公共交通指向型開発（TOD）の促進

## 現地企業や政府との協力・連携

- 現地パートナー：Sinar Mas Land（不動産開発事業者）
- 協力・連携の内容：シャトルバスデータ、その他都市計画関連のデータの提供



## 現地の経済・社会課題

- インドネシア、特にジャカルタは、深刻な交通渋滞の課題に直面している。2022年のTomTom Traffic Indexによれば、ジャカルタは東南アジアで最も渋滞が激しい都市であり、アジアで2位にランクインしている。

## 実証内容

- 当事業で開発を行うのは環境価値のある交通施策（Transit-Oriented Development）の環境価値を定量化し、カーボンクレジットを創出するためのDMRV（Digital, Measurement, Reporting, Verification）ソフトウェアである。
- 従来の方法論と比べ、調査コストを抑え、透明性の高いカーボンクレジットを創出する。

## 期待される裨益効果

- TODに対するカーボンクレジットの取り組みを進めることで、環境に配慮した都市開発がさらに推進されると考えられる。
- 二国間クレジット制度（Joint Crediting Mechanism: JCM）と連携することで、当取り組みは、インドネシアだけでなく、日本のカーボンニュートラル実現への貢献も期待される。